

## 全国身体障害者施設協議会

## 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の影響調査結果報告(速報値)

○調査目的: 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により、本会会員施設の事業収入の今年度と前年度同時期の変化を把握し、その要因を分析して制度等改善要望につなげる。

○調査期間: 令和6年9月2日(月)～9月30日(月)

○調査対象: 全会員施設518件

○回答施設数(率): 346件(66.8%)

○調査結果

## ①令和5年7月と令和6年7月の収入の増減

事業	A 施設入所支援 ※介護給付費のみ。食費や 光熱水費等は除く	B 生活介護 ※施設入所支援と一体的に 実施	C 生活介護（通所）	D 短期入所 ※施設入所支援に併設
全体	346件 103.6%	346件 104.8%	58件 107.6%	321件 105.1%
増加	238件(68.8%) 107.4%	274件(79.2%) 108.1%	44件(75.9%) 112.9%	183件(57.0%) 136.9%
減少	108件(31.2%) 96.0%	70件(20.2%) 93.4%	14件(24.1%) 90.9%	131件(40.8%) 75.8%
同額	0件	2件(0.6%)	0件	7件(2.2%)

・表中の「増加」と「減少」は前年同月比の実額で比較し振り分けた

・表中各項2段めは前年同月比の増減の割合

## ②令和5年7月と令和6年7月の収入の主な増減要因

## &lt;A 施設入所支援&gt;

主な増加要因は、「処遇改善加算の一本化で増えた」、「新加算の通院支援加算が算定できた」、「基本報酬が増えた（報酬設定が10名単位に変更となった）」である。

一方、主な減少要因は、「利用者が減った」、「入院する利用者が増えた」、「基本報酬が減った（報酬設定が10名単位に変更となった）」である。

## &lt;B 生活介護&gt;

主な増加要因は、「新加算の入浴支援加算が算定できた」、「処遇改善加算の一本化で算定が増えた」、「福祉専門職員配置等加算ⅠまたはⅡと、Ⅲとの併給可となり福祉専門職員配置等加算の算定が増えた」である。

一方、主な減少要因は、「利用者が減った」、「基本報酬が減った（報酬設定が10名単位に変更となった）」、「サービス提供時間が減った」である。

<C生活介護(通所)>

主な増加要因は、「新設の入浴支援加算が算定できた」、「拡充された人員配置体制加算の算定が増えた」、「処遇改善加算の一本化で算定が増えた」である。

一方、主な減少要因は、「利用者が減った」、「基本報酬が減った（報酬設定が10名単位に変更となった）」、「サービス提供時間が減った」である。

<D短期入所>

主な増加要因は、「利用者が増えた」、「処遇改善加算の一本化で算定が増えた」、「基本報酬が増えた」である。

一方、主な減少要因は、「利用者が減った」が多数(約85%)を占めている。

③ベースアップ 2.5%以上達成の成否

達成の成否	達成した
件数	204
割合	59.0%

- ・令和6年7月給与(前年同月比較)
- ・福祉・介護職員等処遇改善加算を活用